

愛郷  
無限

土屋館  
どや  
だて 通信

発行者：大曲・花火通り商店街  
文責：辻

お問い合わせ：080-1265-7035  
tuck-t@akita-tsujiya.jp

2015年6月8日号 NO.519

写真提供：大仙市

## Subject：映画制作でまちを元気にするプロジェクトの現況報告

街を元気にする新たな一手として昨年から動き出した「ひなび大曲LLP」の地元映画制作事業ですが、粛々と進んでおりますので現時点での状況を報告します。

### ◆大曲の新しいコンセプトを決めて映画を作る

花火通り商店街有志と駅前商業者は、これまで数年にわたり「364プロジェクト」を進めてきました（＝1年の内、大曲の花火開催日を除いた364日の日常生活が充実した駅前エリアを作る）。花火のまちづくりは係わっている方が沢山いるので、我々は花火以外の部分でまちの魅力を引き出し、一年を通して地域住民と来街者に愉しんでもらえるまちづくりに専念すべきと考えています。大曲駅前、ターゲットを次の二つの柱に定めてこれまで活動しています。

- 1) 地元の皆さんの満足 地域住民の普段使いのプラットフォーム  
イベント事ではなく、普段の充実・魅力アップ
- 2) 県外の皆さまの満足 市外からの来街者が楽しめる観光要素【商店街観光】  
(イベント事も含めた集客)

映画制作は主に2の来街者に対するPRを主目的としますが、制作に当たってまずは街のコンセプト（どんな街になりたいか、何をどんな風に見せたいか）とターゲット（どんな人に来て欲しいか・何を買って欲しいか）を明確に設定する必要があります。大曲の観光振興策はこれまでこの部分が非常に曖昧だったことを反省しつつ、まずはここ数ヶ月にわたり有識者を加えて今回の事業の骨組みを議論してきました。結果、以下の通りにこれからの大曲の新しいコンセプトを決定したところです。

### ◆コンセプト：

【ウンチクと語りで元気になる街・大曲 ～人っこいいな～】

### ◆ターゲット：

【30～40代の女性】

### ◆目標：

【大曲を秋田県のハブ（窓口・玄関・交流点）にする】

文章的にはこれから手直し入れてコピー制作をしますが、意味は読んで字の如くです。仙北市（角館・田沢湖）、横手市、湯沢市という県南各市が、豊富な地域資源を活かして血眼になって観光振興に力を入れている中、最後発の我々が同じ方向の観光振興策を選択してスタートしても、追いつくことさえ出来ないのは明白。逆に地の利を活かして窓口としての魅力と機能を充実し、また人っこの良さを語りで伝えていきたいのです。

大曲は秋田県の交通の要所であり、しかも他県南市では既に廃れて無くなってしまった「街中の魅力と力」が残されているのですから、これを活かさない手はありません。

「秋田に来るなら先ずは大曲に立ち寄るべき。大曲なら秋田全体の「ヒト・モノ・コト」の良さの概要を一度に全て体感し、情報を得ることが出来る」と胸を張ってPRしたい。実際に来ていただいた方に満足してもらおう設えと仕組みを整えねばなりません。これらを実現するには単に集客目的の【箱物】を作るのではなく、かかわる人達の個々の魅力と努力が積み重ねられ、発するプラットフォームが必要です。お金がないからお金をかけず、その代わり沢山の市民に係わってもらい、ヒトとモノを磨き上げるのです。大曲納豆汁のご当地グルメ、大曲まちゼミ、364プロジェクト、カモースリング大曲、花火ウィーク、ときめきマップ、商店街の個店魅力アップ、店間のコラボ等々、これまで取り組んで来た個々の魅力とエッセンスをここに集結させ、大曲の魅力的な素材グループとして映画を利用して発信し、実際の経済効果を生むことに繋げたいのです。花火文化は大曲の宝物です。でも花火だけに固執しない、むしろ我々は花火以外の部分で街の魅力アップを図ることが肝要です。

#### ◆今後の予定

平成27年	春～夏	コンセプトの総合デザイン化 売りたい地場商品の拾い出しと需要調査、デザイン立案 コンセプトショップの検討・準備 映画制作の下準備（素材、制作体制、カテゴリの検討）
	秋～冬	地場商品の販売開始 通販窓口の開設（インターネット） コンセプトショップのオープン（店舗運営） 映画制作に向けた具体的な準備
平成28年	春～	映画制作／編集作業
平成29年		映画の日本国内、東南アジアなどでの配給スタート（劇場公開）

#### ◆トピックス

・人気アーティストEXILE（エグザイル）の所属事務所「株式会社LDH」  
5月に東京の本社を訪問し、営業宣伝部と海外戦略室の責任者へ大曲の構想と状況、今後の展開を説明。LDH社は所属アーティストの活動だけでなく、若手アーティストの育成、地域貢献、海外展開にも非常に熱心で成果を上げている大企業であり、日本を元気にするための社会貢献活動にも前向きです。今回の企画へ何らかの絡み方を模索していただけることになりました！

#### ・経済産業省の支援体制

経済産業省の支援をいただいてH26年度に実施した、調査・アンケート・分析事業の調査結果

これを評価いただき、今年度・来年度と継続して私達を支援いただける体制になりそうです。地元映画制作を切り口にした地域振興策は非常に注目をされており、且つまた東北で初めての取り組み例として期待されています。

最も重要なことは、今までアレコレ立ち上げ続けてきた様々なコトが、今回の映画制作で全て結集され・融合され、目に見える効果上げる礎になることです。